

# アメリカにおける muscular Christianity とその実践 —YMCA 体育の歴史に着目して—

## A historical study of muscular Christianity and its practice in America -focusing on the history of YMCA physical education-

1K10C394 松下 大樹

主査 石井昌幸 先生

副査 寒川恒夫 先生

### 【はじめに】

Muscular Christianity とは、「健康や男らしさへのキリスト教的な介入」と定義される。それは、旧来の身体観を超えてスポーツを推進しようとする、アスレティズムの成立と発展に関わる思潮でもあった。muscular Christian と呼ばれる人びとは、強靱な肉体を礼賛し、男らしさを宣揚し、スポーツを推奨することで、19 世紀中葉のイギリスにある種のムーブメントを引き起こした。

Muscular Christianity をめぐるムーブメントは、同時代のアメリカにも見られる現象である。それは、YMCA (Young Men's Christian Association) の体育と密接に結びつくものであった。本研究では、アメリカ的な muscular Christianity の歴史的意義を、アメリカのスポーツ文化を貫くものとして描くことを目的とする。

### 【第一章 muscular Christianity の伝播】

“Muscular Christianity” という語の初出は、1857 年とされている。それはおもに、キングズレーやヒューズの小説を表現する際に用いられた。それらの作品のなかで、muscular Christian の肉体は単なる文学的な主題ではなく、社会改良上の本質的な主題として描かれた。イギリスにおける muscular Christianity とは、そのような社会改良に基づく実践的な信仰であったといえる。

その新しい信仰に対するアメリカ人の反応は、ピューリタンの禁欲主義に基づく拒絶の態度から始まった。「スポーツはキリスト教的な性格に寄与する」という思想は、教会の伝統とはまったく無縁のものであった。しかし、エマーソンやヒギンソン、ピーチャーらの尽力によって、それまで支配的であった「身体の強健さと神聖さは矛盾する」という考え方は払拭されようとしていた。

### 【第二章 muscular Christianity の拡大】

1844 年にイギリス・ロンドンで誕生した YMCA は、1851 年にはアメリカ・ボストンに設立され、1860 年代までには「身体活動」を採用する契機を得た。ワシントン、サンフランシスコ、ニューヨークに相次いで体育館がオープンしたのは 1869 年で、その後の「身体活動」は体育館の増加に伴いながら展開されることになった。

キリスト教徒ではじめて体育主事となったロバーツは、ボストン YMCA が 1872 年に買収したトレモント体育館で「ボディ・ビルディング」を推奨した。彼は健康教育にも熱心で、しばしば体育館を「健康の殿堂」と呼んだ。

1870 年代は「サーカスの時代」とも評され、YMCA の体育館には、曲芸師や体操選手がボランティアのインストラクターとして引き抜かれていた。サーカスと結びついた当時の体育館は、「スポーツ」と信仰の吸引と反発という両面性を備えた実験装置であったと考えられる。

### 【第三章 muscular Christianity の実践】

19 世紀最後の 20 年は、「体育館建設時代」と呼ばれ、体育館はアメリカ中の YMCA の必須条件となった。この時期に YMCA が求めたのは、「キリスト教的な性格を備えた体育教師」であった。1885 年、「YMCA 訓練学校」の前身となる組織がスプリングフィールドに創設され、その 2 年後には体育指導者の養成コースが新設された。

ギュリックは、「muscular Christian のエトスを強調」することで、「スポーツとキリスト教の結びつきの強化」に貢献した人物であった。彼にとって、体育とは合理的に身体を鍛えることであったし、体育館は「魂の救済における根本的かつ本質的な役割」を担っていた。YMCA は、アスレティズムをキリスト教に注入するだけでなく、キリスト教を男性に近づけようともしていた。のちにギュリックによって、身体・心・精神の統合を象徴する逆三角形のマークが考案されたが、彼の活躍は YMCA 体育のみにとどまらず、学校体育においても展開されることとなった。こうして彼は、アメリカにおける muscular Christianity を実践へと導いたのであった。

### 【おわりに】

YMCA にとって、スポーツとは muscular Christianity の実践であり、彼らは muscular Christianity の実践者を増やそうとしていた。Muscular Christianity の実践とは、それまでの曖昧で漠然とした「スポーツ」との分離を強調するものであったと考えられる。すなわち、アメリカ的な muscular Christianity とは、「スポーツ」に正当性をもたらす行為であったといえるのではなかろうか。